

農業技術センターニュース

目 次			
シキミの輪紋症状葉から発見されたウイルス	… 1	トマト養液栽培における糖度向上技術	… 4
シュンギクにおける後作物残留リスク	… 2	オキシペタラムにおける炭酸ガス施用効果	… 5
収穫後の近赤外光照射がナスの市場病害の発生に及ぼす影響	… 3	ハウスミカンにおける環境制御技術の開発	… 6

シキミの輪紋症状葉から発見されたウイルス



写真1 末期の症状

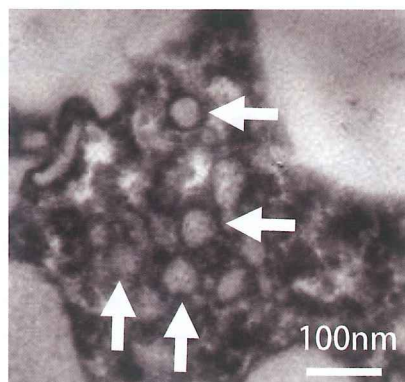


写真2 エマラウイルス属のウイルスと考えられる粒子

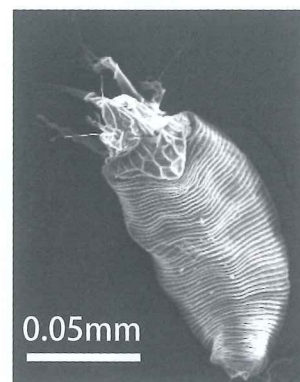


写真3 シキミで確認されるフシダニの一種の走査電子顕微鏡写真

以前から、シキミでは輪紋症状（写真1）が発生して、品質が低下する事例が見られています。この障害は、フシダニ類の加害で発生すると考えられていましたが、近年、フシダニ類が媒介するエマラウイルス属のウイルスが、シソやナシなどにモザイク様の症状を起こす可能性が報告されました。そこで今回、シキミの輪紋症状にもウイルスが関与している可能性を検討しました。

本症状のシキミ葉から抽出した核酸の塩基配列を解析した結果、これまでに知られていない新しいエマラウイルス属のウイルスと考えられる配列が確認されました。

また、本症状のシキミ葉を薄く切った後、電子顕微鏡で組織内を観察すると、エマラ

ウイルス属のウイルスと考えられる粒子が観察されました（写真2）。

高知県のシキミでは2種類のフシダニを確認しています。そのうちの1種類（写真3）を輪紋症状が発生しているシキミ園から採取して、健全なシキミに接種した結果、シキミに輪紋症状が発生しました。

以上の結果から、シキミの輪紋症状に本ウイルスが関与している可能性があると考えられます。今後、さらに詳しく原因を究明していく予定です。

（病理担当 下元祥史 088-863-4915）